

平成二十一年度冬号

曹青かわら版

平成22年2月23日

山口県曹洞宗青年会
会長 大野 泰生

『心の大学講座』活動報告

五教区 安禅寺徒弟 村上 邦明

昨年十一月十日、山口市の山口県総合保健会館に於いて、『禅を聞く会(檀信徒大会)』が開催され、青年会では『心の大学講座』『祈祷と太鼓』と題し、大般若祈祷法要並びに和太鼓演奏の催しを行いました。

大般若祈祷法要では大野泰生会長・前副会長河口徳隆師・中村充宏師を導師に檀信徒の方々と共に釈迦様の教えを尊びながら世界平和並びに心身堅固を祈念し法要を厳修いたしました。檀信徒の方々と共に祈念するということで、古式に則りながらも青年僧侶の新たな視点を取り入れていくという趣旨のもと会場が一体となり進行していききました。檀信徒の方々にとっては曹洞宗におけ

る僧侶も大勢でこのような法要を勤めることになり準備期間から本番まで有意義な時間を過ごせたと感じています。

また私達、青年僧侶も大勢でこのような法要を勤めることになり準備期間から本番まで有意義な時間を過ごせたと感じています。



大般若転読の様子。四張りの太鼓を使った大播上殿、読経も新たな試みでした。34名の正会員が随喜しました。

和太鼓演奏は「潮騒」を曲目とし、約二カ月間、週一回の練習を重ね本番をむかえました。演奏後、満員となった会場から大きな拍手をいただき爽快感でい



総勢22名での和太鼓演奏。

つぱいとなりました。練習をしていく中で、この取り組みは、まさに「大衆一如」の精神であったと考えています。一つのことに向かつて皆で精進を重ね、やり遂げることができ感動を覚えました。

私は山口曹青会員となりまだ日が浅いのですが今回の催しを通じ、曹青の一員となれたと実感いたしました。

また同時に皆様との良いご縁をいただいたことに感謝しております。今後も曹青の会員として様々な行事に参加させていただき、大衆一如の精神で取り組んでいきたいと決意しております。

コラム 祈禱太鼓の現状

日頃あまり使われることがないけれども、本堂の脇にひっそりと置いてある太鼓。しかし、いざ晋山式や先住忌などの大きな法



要には存在感を発揮します。さらにお寺によつては大般若会などの各祈禱法要で、「祈禱太鼓」として使われています。

安居中に太鼓を叩くことはありますが、祈禱太鼓を勉強できるかどうかは僧堂によつてまちまちのようです。永平寺ではほとんどありません。総持寺では基本的には堂行寮まで行かないと祈禱太鼓を練習する機会はありません。一方、総持寺祖院では安居者が少ないということもあり、安居一年目でも祈禱太鼓の指導があり、実践する機会はかなりあります。一般的に本山僧堂よりも安居者の少ない専門僧堂のほうがより祈禱太鼓に触れる機会が多いと思われまます。また、祈禱太鼓の打ち方も僧堂ごとに微妙に異なるようです。

祈禱太鼓を勉強する機会がなかった人

は独学するしかないというのが現状で、そのため「祈禱太鼓の手引き」(申し込み終了)というDVDを全曹青が製作したこともありまました。各県の曹青でも祈禱太鼓の研修を行ったりしています。さて、今回の大般若祈禱法要では四張りの太鼓を使用しましたが、なかなか苦労があつたようです。以下、感想です。

「みんなで力を合わせた祈禱太鼓」

三教区 華厳寺 磯部誠司

昨年十一月十日に行われた『禅を聞く会』の、大般若祈禱法要における祈禱太鼓は、清木賢明師、沖墨公慈師、清木玄栄師と私の四人で担当しました。日頃の祈禱法要や、大般若法要の祈禱太鼓は、一人ですることがほとんどなのですが、このたびは四人ですということとで、練習の時からどのようにするか試行錯誤の連続でした。

最初は広いホールでの法要なので、迫力を出すためみんなそれぞれ自分の叩き方でお経に合わせて太鼓を叩いたのですが、皆叩き方が違うので、なかなか合わずただうるさいだけになってしまいました。そこで、般若心経三回の内、一回ずつ一人で担当し、終わったら、次の人に

交代し、他の者はリズムを軽くとする程度で、サポートに回るようにしました。消災呪三回も、最初から最後まで一人が担当し、他の者はサポートに回りました。特にお経が盛り上がる時や、交代する時に音が切れないように、サポートする者は意識して強めに太鼓を叩きました。練習を重ねるたびにみんなの息がだんだん合つてきて、迫力が少しずつ伝わるようになったのではないかと思います。

本番あの広いホールで、どこまで迫力が伝わったか分かりませんが、潮騒の演奏もそうですが、多くのお客様の前で、みんなで息を合わせて、力を合わせて表現することの難しさ、そして素晴らしさを痛感しました。

禅昌寺町田宗夫老師のご遷化

十一月十五日に一教区禅昌寺の町田宗夫老師がご遷化され、二十三日に大夜、二十四日に本密葬が執り行われました。戦後の荒廃期から、活力ある青年の育成にご尽力されてこられました。活動は多岐にわたり、青年会におきましも授戒の戒師をお勤めいただくなど、多大なご理解・ご協力をいただきました。



会員は活動の中で多くの助言をいただき、またその後ろ姿から多くのことを学ばせていただきました。ご恩を書き尽くすことはできませんが、心からの感謝を申し上げます。

●第三十二回中曹青岡山大会

十一月十六日(月)～十七日(火)に岡

山県岡山市の岡山プラザホテルにおきまして「坊さんリテラシー」情報を処理・発信する能力」をテーマに、第三十二回中曹青岡山大会が開催されました。

初日は開講式に引き続き、読売テレビ放送(株)報道局局長の辛坊治郎氏による講演会が行われました。演題は「メディアのミカタ」です。直接私たち僧侶に関係する内容ではありませんでしたが、報道の裏にある「事実」と「真実」の違い・テレビラジオにでてこない政界の裏舞台等についてお話されました。

二日目は山口県出身で、現在東京で月読寺の住職をつとめる小池龍之介氏に



「仏法デザイン・戒定慧(三学)あつてこそそのメディアパッケージ」という演題で講演いただきました。小池氏は上座部の教えに従い生活を送ら

れているようで、座禅も瞑想を主にやっているとのことでした。僧侶が「三学」に基づいて日常の生活を送ること、そしてその悟りをベースに伝えることの大切さをお話されました。

情報発信する内容が「仏教」に裏付けされていること、発信する人が「偽り」のないこと、正しく発信し正しく伝えることが難しいことを勉強させていただきました。

なお、この大会にあわせて中曹青連絡協議会が開催されました。各曹青ごとの近況報告に引き続き、全曹青が今期基幹事業として行っている電話相談の基礎研修を中国管区でも開催することが話し合われ、2月に開催する事が議決されました。

次回の中曹青大会は山口県が主管となります。平成二十二年十一月十一・十二日に開催を予定です。

●平成二十一年度

全曹青臨時評議員会開催

十一月二十七日(金)東京の曹洞宗檀信徒会館に於きまして今年度の臨時評議員会が開催されました。

愛媛青年会の高木一晃師が議長として指名され、各委員会活動の経過報告・電話相談員養成研修について・特別委員会活動経過報告・会計中間報告について議事が行われ賛成多数で可決されました。また各曹青会から、正会員の会費が二十年以上五百円であるので、時代性を考慮し理事会で検討して欲しいとの意見が出され、慎重に検討されることとなりました。

その後「防災ボランティアを考える体験学習」が開催されました。ワークショップ形式で、ボランティアセンターが立ち上がるまでの流れと、受付やニーズ班など実際に配役を体験しました。「今後の各地での活動に役立てて欲しい」と担当の宮下副会長の挨拶で締めくくられました。

最後に時間を頂き、先般の防府災害の



協力のお礼と報告をさせて頂きました。

◆年末托鉢(徒弟研修)◆

今年もタイの山岳少数民族の教育支援のため、募金を托鉢で呼びかけました。昨年に引き続き参加してくれた徒弟さん、下関と周南両方の托鉢に参加してくれた徒弟さんもいました。ご協力いただいたお師匠様方にも御礼申し上げます。なお、周南の托鉢は新周南新聞写真入りで掲載されました。

・十二月六日(日) 下関托鉢	浄財	109,967円
参加者	十名 (内、徒弟一名)	
九教区	大覚寺	末益 泰仁くん
・十二月二十三日(水) 周南托鉢	浄財	75,696円
参加者	十九名(内、徒弟五名)	
一教区	宝松寺	山中 大稔くん
		山中 千広ちゃん
四教区	龍泉寺	岩迫 祐都くん
九教区	大覚寺	末益 泰稔くん
		末益 泰仁くん



徳山托鉢に参加してくれた徒弟さんたち。おつかれさまでした。また来てね!

「たくはつに参加して」

小学三年 末益 泰仁

十二月六日、雪がちらちらふって、とても寒い日の日曜日に、ぼくたちは、しものせきでたくはつをしました。

ぼくは、和明さんといっしょに、お店の前で立っていました。すると、おばあさんが、「寒い日によくがんばってるねえ。」と言って、おわんの中に、お金を入れてくれました。ぼくは、「ありがとうございます」



下関托鉢に向かう途中。托鉢は時間中、ずっとシーモールの前に立ち続けています。

た。」と、お礼を言いました。

その後、ぼくは、おわんの中にたくさんお金を入れてもらいました。しかし、重すぎて、手がいたくなつたので、ずだぶくろの中に少しいれました。一時間ちよつとでぼくたちは、お寺に帰りました。

とても寒かったけど、おぼうさんたちにも親切にしてもらいました。またいつかたくはつをしたいなあと思います。その時はよろしくおねがいします。

■「戒弟のつどい」報告■

欣慶寺徒弟 野坂正道

二月四日、禅昌寺様を会場に戒弟の集いが開催されました。戒弟の皆様は、当時に一緒に受戒された方々との再会を心待ちにされている様子で、私も初めてこの集いに参加させていただきましたが、とても和やかな雰囲気だと感じました。

まず開会式に併せまして、禅昌寺二十八世鉄巖宗夫大和尚の追弔会の法要が営まれ、その後に坐禅、そして十六年授戒直壇長の長徳寺河谷正也老師にご法話をいただきました。私は坐禅指導を担当させていただきましたが、毎年参加されている方々は慣れた様子で座られていたのが印象的でした。昼食をはさんで、午後の部は写経、布薩法要とお勤めさせていただきました。

また、休憩の際のクラフト販売では、戒弟の皆様と色々なお話させていただきながら、多数のご購入と、温かいご厚意の募金をいただきました。
(戒弟三十八名、正会員二十二名参加)



戒弟さんをお見送り。自然と笑みがこぼれます。

今回も戒弟さんからお答えいただいたアンケートの一部をご紹介します。

・「二十二年度戒弟の集いを更新させて頂き本当に有難うございます。安らぎの場を求めることの出来る大切な事ばかりでした。一日一日を元気に生きられることが一番の幸せと思っております。一人ではないですよと聞かされて心強く、生命を大切にして感謝を忘れず参りたいと思います。今日は本当に有りがとうございました。」(H十二年授戒 女性)

・「戒弟の集いは免許更新と同じのと毎年続けて下さい。ただし、季節は花の咲く頃がよいですね。寒さがこたえまです。よろしく。」(H十二年授戒 男性)

●タイ山岳民族教育支援

●募金クラフト販売状況●

十一月十日 禅を聞く会	
クラフト売上	126,700円
浄財	433,027円

今後ともご協力よろしくお願ひします。
ご寺院様の諸行事にぜひご利用ください。
ご一報くだされば、会員がクラフトの
販売に参ります。またクラフトは贈答品
などにもご利用いただけます。

【連絡先】(担当)欣慶寺野坂正道

電話090-7592-6296



県曹青ホームページのご案内

一昨年より山口曹青のホームページを
開設し、運営しています。ホームページは
ヤフーなどの検索で「山口県曹洞宗青年
会」と入力していただければトップに出
てきます。ホームページに関するご意見ご
要望などございましたら事務局までお
願ひします。

アドレス(<http://yamaguchi-sousei.org/>)

県内の寺院紹介については随時受け付
けています。お気軽にお問い合わせ下さ
い。

【今後の行事案内等】

月例研修(授戒会研修会)

三月十一日 十一教区大寧寺

公開講座(シャンティ山口共催)

元SVA職員安井清子さん講演

三月十六日(火) 一教区龍福寺

総会

四月十二日(月) 周南市青山

第三十三回中曹青山口大会

・桂歌丸師匠講演予定(公開講座)

十一月十一日(木) 山口保健会館

・盛田正孝老師講演・全曹青発表

十一月十二日(金) ニュータナカ

*詳細の決まりましたものは改めてご案内させていただきます。

【連絡先】0837-25-3469
青年会も全面的に協力をする予定です。

「大寧寺開創六百年慶祝大法要

併修報恩大授戒会

十一教区大寧寺さまが今年で開創六百年を迎えられます。記念事業として大法要・文化講演・授戒会等が厳修されます。戒師は御誕生寺の板橋興宗禅師です。

授戒会につきましては関係寺院を中心に、一般にもひろく戒弟を募りたいとのこと。詳しくは大寧寺さまに直接お問い合わせ下さい。

【期日】平成二十二年五月九日(日)

～五月十三日(木)

【場所】大寧寺

問い合わせ先

山口県曹洞宗青年会事務局

大島郡周防大島町久賀二〇二九―二

久屋寺(六教区)

電話〇八二〇―七二一―〇四一

ファックス〇八二〇―七二一―〇一〇

